

## 2023年度

科目名称	小児看護学概論（8回）
授業コード	BK213
英語名称	Introduction to Pediatric Nursing
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	津田 茂子 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	急速に変化し多様化する社会の中で、子どもが心身ともに健やかに育むことができる支援をするために、小児看護の基礎となる成長・発達の特徴や生活環境を学ぶ。また、子どもと家族を中心とするケアの理念に基づき、子どもの尊厳・尊重を保障した小児看護の役割を学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	病院で小児病棟看護師として勤務経験のある教員が、小児看護の基礎となる子どもの特徴・取り巻く環境・人権などについて実務経験を活かし実際の場面をもとに講義を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児看護において基礎となる、子どもの特徴・成長発達・子どもを取り巻く環境（家族を含め）・子どもの人権等を発達理論・発達評価・法律などを応用し、理解する力を身につける。</li> <li>・カリキュラムポリシーにおいて「対象の様々な権利や人権を尊重し、看護専門職としての倫理的姿勢をもち、また看護学としての専門知識・技術を学び、論理的思考を習得する」ことを目指すために、小児看護学分野の基礎を身につける。</li> </ul>
計画・内容	<p>1. ガイダンス、小児看護の対象・役割 : 4月11日(火)4限  1) 小児看護の対象と特徴 2) 小児看護の目標と役割  予習: テキストの該当部分に目を通す  復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p> <p>2. 子どもの成長と発達 : 4月18日(火)4限  1) 成長発達を学ぶ意義 2) 発達領域と進み方 3) 発達区分  4) 発達評価 5) 栄養  予習: テキストの該当部分に目を通す  復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p> <p>3. 子どもの成長と発達 : 4月25日(火)4限  ・発達理論  ボウルヴィの愛着理論、ピアジェの認知発達理論、エリクソンの発達理論  予習: テキストの該当部分に目を通す  復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p> <p>4. 家族の特徴とアセスメント : 5月9日(火)4限  1) 現代家族の特徴、役割変化 2) 子どもにとって家族とは(グループワーク)  3) 家族をアセスメントする意義  4) 病気(障がい)がある子どもを持つ家族  予習: テキストの該当部分に目を通す  復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p> <p>5. 子どもと家族を取り巻く社会 : 5月16日(火)4限  1) 児童福祉 2) 母子保健 3) 医療費の支援  4) 特別支援教育 5) 臓器移植法と現状  予習: テキストの該当部分に目を通す  復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>6. 小児看護における倫理 : 5月23日(火)4限          1) 子どもの権利 2) 医療現場での倫理的配慮          予習: テキストの該当部分に目を通す          復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p> <p>7. 小児看護における倫理 : 5月30日(火)4限          1) 子どもの人権を守る          -1 虐待の現状、虐待の要因と対応策          -2 発達障害(自閉症等)をもつ子どもの人権          予習: 新聞等から虐待や発達障害に関する情報収集する          復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p> <p>8. 小児看護における課題 : 6月6日(火)4限          1) 高度複雑化する小児医療とその課題          -1 治療の継続と子どものQOL          -2 在宅医療          -3 小児病棟の存続          2) 小児看護の専門分化</p> <p>予習: テキストの該当部分に目を通す          復習: テキストの該当部分・配布資料を見直す</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>講義およびグループワークで授業を展開する。          授業の進行状況によっては、授業内容や進度を変更する場合がある。          授業終了時には、リアクションペーパーを提出する。          テキストは必ず持参すること。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>毎回、授業内で確認テストを行い、理解度の振り返りを行う。          課題についてディスカッションを行い、発表する。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>予習: 毎回提示した内容を予習する(毎回1時間程度)。          復習: 教科書や提示したプリントと関連付け、講義ノートなどを作成し内容を理解するための復習をする(毎回2時間程度: 課題レポートの場合もある)。</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>教科書: 小児看護学1 第14版 医学書院 2020年          参考書: 国民衛生の動向最新版</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>グループワーク参加度(10%)、筆記試験(90%)を統合し評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>グループワークでの発表時は、その都度コメントをする。          授業内またはリアクションペーパーでの疑問や難しいと感じていることに対しては、次回の授業内でフィードバックする。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>1. 配布資料は、ファイリングし授業に持参すること。          2. 遅刻20分以上で欠席(1コマ)扱いとし、20分未満の場合は2回で欠席1回の扱いとする。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方          授業と課題学習を組み合わせで行う。</p> <p>成績評価方法と基準          課題の提出(20%)、筆記試験(80%)を統合し評価する。</p>